

「令和 6 年能登半島地震の津波に対する意識調査」 実施のご報告

県民の皆様、令和 6 年能登半島地震津波における避難行動や意識を明らかにすることで、今後のよりよい津波からの防災・避難システムを提案するために実施するために、津波に対する意識調査を実施いたしました。その調査の調査票を次頁に公開いたします。

- ◆ 今回の調査は、国の科学研究補助金や助成金のもと、富山県立大学工学部 環境・社会基盤工学科 防災水工学研究室（代表：呉修一教授）が実施いたしました。
- ◆ 調査対象者は、富山県沿岸部に居住する方から、ランダムに抽出された 4,000 名です。
- ◆ アンケート調査の結果は、回答者個人が特定できないよう、統計的に処理した上で、学術研究ならびに政策提言を行うことを目的に使用いたします。調査結果が、第三者に無断で譲渡されることはございません。
- ◆ 皆様からの調査結果は、まとまりしだい学術雑誌や本 HP 等で公表する予定です。
- ◆ その他、ご不明な点やご意見等ございましたら、下記までご連絡ください。

ご多忙の中、調査へご協力頂いた皆様に、重ねて御礼申し上げます。

2025 年 6 月

富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科

教授 呉 修一

TEL: 0766-56-7500 HP: <http://www.pu-toyama.com/>

「令和6年能登半島地震の津波に対する意識調査」

- ・以下の Q1 から Q17 までの質問に対して、ご回答者様のお考えにあてはまる選択肢を○で囲んでください。
- ・ご回答いただく○の数は質問文に「○は1つだけ」、「○はあてはまるもの全て」などと示していますので、それに従ってご回答ください。

Q1 お住まいのご住所（町名・番地まで）を記載ください。不都合な場合は市町村名のみでの回答でも結構です

- ・ご住所記載欄

--

- ・市町村名（○はひとつだけ）

1. 富山市	5. 滑川市	9. 射水市	13. 入善町
2. 高岡市	6. 黒部市	10. 舟橋村	14. 朝日町
3. 魚津市	7. 砺波市	11. 上市町	
4. 氷見市	8. 小矢部市	12. 立山町	

Q2 令和6年能登半島地震発生時（令和6年1月1日時点）の年齢と性別をお答えください。

- ・年齢（○は1つだけ）

1. 10代	4. 40代	7. 70代以上
2. 20代	5. 50代	
3. 30代	6. 60代	

- ・性別（○は1つだけ）

1. 男性	3. その他
2. 女性	4. 答えたくない

Q3 お住まいは最寄りの海岸からおおよそ、どれぐらいの距離になりますか。（○は1つだけ）

1. 100m以内	4. 500m～1km以内
2. 100～300m以内	5. 1km以上
3. 300～500m以内	

Q8 避難時の実際の行動についておたずねします。あなたが避難し始めたのは地震発生(16時10分)からどれくらい経ってからですか。

(複数回避難された場合は最初の避難についてお答えください。○は1つだけ)

1. 5分以内	4. 30分～1時間以内	7. 覚えていない・分からない
2. 5～10分以内	5. 1～3時間以内	
3. 10～30分以内	6. 3時間後以降	

Q9 あなたはどのような手段で避難されましたか (○は1つだけ)

1. 徒歩	2. 車	3. 自転車	4. その他 ()
-------	------	--------	------------

Q10 避難先にはどのくらい滞在されましたか。(○は1つだけ)

1. 20分以内	3. 1～6時間以内	5. 12～24時間以内
2. 20分～1時間以内	4. 6～12時間以内	6. 24時間以上

Q11 避難先での滞在をやめ、自宅などに戻った理由はなんですか。(○は当てはまるもの全て)

1. 津波警報が注意報に変わったから	4. 疲れた、寒くなった、おなかがすいた、など	7. 避難所にいるのが、迷惑だと思ったから
2. 津波注意報が解除されたから	5. 周りの人が帰り始めたから	8. 用事があったから
3. 津波は既に到達しており、もう来ないと思ったから	6. 余震もなく、海も普通そうで、大丈夫と思ったから	9. 知人や家族などから、もう大丈夫と言われたから
10. その他 ()		

以降は次頁の Q13 へお進みください

【Q5で「2. 避難をしなかった」とお答えの方におたずねします】

Q12 あなたが避難をしないと判断された理由は何ですか。(○はあてはまるもの全て)

1. 今いる場所は安全だと思ったから	6. 避難していた近所の人帰宅してきたから
2. 津波は来ないと思ったから	7. 住宅の電気、水などに支障がなく、この先もしのげると判断したから
3. 自分や家族が病気や身体が不自由で避難できなかったから	8. 特に理由はない
4. 避難すべきか分からなかったから	9. 覚えていない・分からない
5. 津波警報等の情報が入ってこなかったから	10. その他 ()

【再び全ての方に、各自治体で定めています「津波ハザードマップ」についておたずねします】

Q13 あなたは沿岸の各自治体で、津波のハザードマップが設定されていることを知っていましたか。
(○は1つだけ)

1. 知っていて内容を見たことがある	3. 知らなかった
2. マップの存在は知っているが見たことはない	4. 知らなかったが、被災後マップの存在を知った

Q14 被災時あなたがいた場所は、津波ハザードマップの浸水想定区域内または避難対象地域内に含まれていたか認識はありましたか。(○は1つだけ)

1. 含まれていると認識していた	3. 分からなかった(マップを知らないまたは内容を覚えていないので判断できなかった)
2. 含まれていないと認識していた	4. その他()

Q15 お住まいの地区の避難所の位置を、普段マップで確認されていましたか。(○は1つだけ)

1. 確認したことがある	4. 確認したか覚えていない
2. 確認したことがない	5. その他()
3. 確認したがわからなかった	

Q16 今後、今回と同じか更に大きな地震があった場合、避難しようと思えますか。(○は1つだけ)

1. とても思う	3. どちらともいえない	5. まったく思わない
2. やや思う	4. あまり思わない	

Q17 上の質問(Q16)で、避難しようと思わなかった(3~5)、理由は何ですか。(○はあてはまるもの全て)

1. 富山には大きな津波は来ないから	4. 今回避難して恥をかけたから	7. 家族を含む周囲の人しだいだから
2. 今回避難して、意味がなかったから	5. ハザードマップから自分の家は安全だと確認したから	8. 今の段階ではわからない
3. 今回避難しないで、大丈夫だったから	6. 避難所・避難先が未だによくわからないから	9. その他()

【お願い】

地震・津波の発生時に、津波の状況(押し寄せる状況や、その後の津波の痕跡など)を見た方で、情報提供頂けるかたは、以下に連絡先を記載してください。富山県立大学よりコンタクトさせていただきます。
連絡先 TEL or E-mail など ()

質問は以上です。ご回答頂きまして、心より御礼申し上げます。お手数をおかけしますが、ご回答いただいた調査票は同封の返信用封筒に入れ、郵送をお願い致します(切手は不要です)。